

## 令和4年度第2回 財政健全化専門部会 質疑応答要旨のポイント

分野	質問者	回答者
財政再建の実施状況について	<p>【委員】</p> <p>歳入の「寄附金」が前年度予算よりも増加しており、ふるさと納税の増加を見込んでいるようである。ふるさと納税の手続きを民間委託することが要因のようだが、なぜこれだけ増えるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>令和4年12月から民間事業者に委託しているが、事業者が受託している他自治体での実績を踏まえ、増収を見込んでいる。</p>
	<p>【委員】</p> <p>ふるさと納税が伸びることはいいことだが、民間事業者への支出も増えているはずである。ふるさと納税に関する歳入歳出全体では、どれだけ伸びているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>個人版ふるさと納税と企業版ふるさと納税を合わせて3億4千万円の増を見込んでいる。それにかかる事業費については2億7千万円の増を見込んでおり、差し引きで歳入が7千万円増える見込みである。</p>
	<p>【委員】</p> <p>集落排水特別会計について、一般会計から企業会計扱いとなり、繰出金相当分が補助費になったことで、補助費の削減の取組みが達成できなかったということだが、繰出金はその分減っているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>農業集落排水の繰出金が4億9千万円減り、ほぼ同額が補助費で増加すると見込んでいる。ただ、資料にある繰出金削減の取組は国民健康保険特別会計と下水道事業会計の2会計の繰出金であり、集落排水特別会計は資料に表れていない。</p>
	<p>【委員】</p> <p>ごみ処理施設整備事業と新学校給食センター整備事業について、事業者は資材高騰や賃上げ等のインフレの影響は織り込んでいるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>資料にある金額は入札時の金額である。契約には物価変動による見直し条項も盛り込んでいることから、事業者からの申し出があれば、契約に基づき対応する。</p>
	<p>【部会長】</p> <p>資材高騰や光熱費高騰の対策については補正予算で考えているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>一部、当初予算で見込んでおり、市の施設関係で4億円弱の増加を見込んでいる。また、普通建設事業費も建設単価の伸びにより約8億5千万円の増加を見込んでいる。高騰が長期化するようなことになれば、補正予算等で対応することも考えられる。</p>
	<p>【委員】</p> <p>補助金の見直しについて、コロナ禍と重なったことで、補助金が削減されていても事業が無くなり問題が起きなかったが、令和5年度は徐々に動いていくことになると思う。各団体で状況が違うことから、活動が衰退したままにならないよう配慮をお願いしたい。</p>	<p>【市】</p> <p>令和6年度当初予算前に各団体の状況を調査し、コロナ禍前後の状況を聞き取りながら市の財政状況を見極めた上で判断していきたい。各団体の活動に支障が出ないように対応していきたい。</p>

<p>財政再建の実施状況について</p>	<p><b>【部会長】意見</b></p> <p>コロナの臨時交付金で生じた財政的なゆがみを是正していく時期だが、ただ削減するだけではなく、柔軟な対応を図ってほしい。</p>	
	<p><b>【委員】</b></p> <p>コロナ禍で多くの市民が生活苦になり、県社会福祉協議会を通して借り入れをしている。これらが返済時期を迎えており、返済できない市民が増えてくるように思う。令和5年度のコロナの臨時交付金は、こういった市民への手立てとして使えないのか。</p>	<p><b>【市】</b></p> <p>国が追加経済対策で臨時交付金を追加配分するという話がある。概要として、生活困窮世帯へ1世帯あたり3万円、子育て世帯には5万円といった施策を、臨時交付金を使って、市町村で実施できないかとのことである。今後、国から詳細が通知されるので、詳細がわかり次第、なるべく早く対応したい。</p>
	<p><b>【委員】</b></p> <p>公債費の縮減について、計画に比べて予算が上回っており、令和5年度は50億円の計画のところ148億円ということで、約100億上回っている。例えば将来負担比率はクリアしているのか。将来的に公債費の負担がどれくらいになり、持続可能でコントロールできる見込みはあるのか。</p>	<p><b>【市】</b></p> <p>財政計画では、令和5年度の実質公債費比率は10.8%と推計しているが、令和5年度当初予算でも同じく10.8%と見込んでいる。</p> <p>将来負担比率は74.5%の推計に対して当初予算では61.5%であり、推計に対しマイナス13ポイント程度になると見込んでいる。</p> <p>しかし、令和5年度に借り入れる市債は、多くが3年据置であることから、3年後に公債費に反映される。財政計画における令和8年度推計では、経常収支比率が96%、将来負担比率が86.9%で、推計だけでも令和5年度と比べ12ポイントほど増える見込みである。新ごみ処理施設や新学校給食センターなどの大型公共事業が令和5年度から7年度にかけて続くため、他事業の予算を執行していく中で、交付税措置のない市債の借り入れをできる限り減らしていきたい。また、決算剰余金の状況を見ながら、令和4年度と同様、過去の市債の繰上償還を引き続き実施し、少しでも将来負担比率や実質公債費比率を小さくしていきたい。</p>
	<p><b>【委員】意見</b></p> <p>指標の数値はOKでも、市のランクづけが心配である。県内で福井市が一番悪いことにならないよう、しっかりと運営していただきたい。</p>	

財政再建の実施状況について	<p><b>【委員】</b> 減債基金はルール通り積み立てているのか。</p>	<p><b>【市】</b> 決算剰余金の一部は、地方自治法に基づき、財政調整基金に積み立てている。</p>
	<p><b>【委員】意見</b> 財政調整基金が順調に積み立てられている理由の1つは、コロナの影響で、事業がやりたくてもできなかったためお金が使えず、余剰を基金に積むことができたということと、国の応援により、本来は市の一般財源でやっているような事業を、国の交付金でできたということがある。そのため、どの自治体を見ても基金がすごく積み上がった。 今後はこのような調子ではいけないので、公債費が増えてくると、基金が調子良く増えず、補助金の削減も少しずつ戻していくことなどが大変になると思うので、しっかりやっていただきたい。</p>	
	<p><b>【部会長】</b> SSTらんの方向性が「集約化」ということだが、一部譲渡するからなのか、機能を集約させて何かその機能をなくすことなのか、意味合いを確認したい。</p>	<p><b>【市】</b> SST らんではキャンプ場あるいはバーベキュー場として活用してきたが、近隣のガラガラ山キャンプ場をリニューアルしたこともあり、利用が非常に伸びている。そちらの方にニーズをシフトすることで、SSTらんでは廃止し、ガラガラ山を利用してほしいという意味での集約化である。</p>
	<p><b>【部会長】</b> SST らんではテニスコートなどたくさんの施設があったが、そういったものは撤去するのか。</p>	<p><b>【市】</b> 引き続きキャンプ場として運用したいという譲渡先が決まったため、工作物一式をそのまま譲渡することになっている。市が独自で解体するものはない。</p>
	<p><b>【委員】</b> 施設マネジメントアクションプラン第1期の進捗状況の表について、すでに解決し福井市の所有ではなくなっているものもある。福井市と関係がない施設はこの表から外せないのか。</p>	<p><b>【市】</b> 施設マネジメントアクションプランの1期分ということで積み上げる形で表記している。令和6年度から2期に入ることから、表記の方法も含め改善を検討したい。</p>
	<p><b>【委員】</b> 売却予定の施設は、大体の目途はついているのか。</p>	<p><b>【市】</b> 例えば研修センターは売却する予定としているが、既に施設は廃止し建物は解体済である。現在土地売却の公募を行ったところで、来月の中旬に入札を行う予定である。 旧足羽保育園についてもすでに建物を解体しており、跡地売却の公募を行ったところ、先日落札がされたところである。</p>

財政再建の実施状況について	<p><b>【部会長】</b>          公募期間は十分にとっているのか。施設をなくすための地域との協議は大変だったと思うが、残すとか自走を目指すことを考えると、公募期間は妥当なのか。</p>	<p><b>【市】</b>          物件ごとに期間を設定することは行っていないが、入札・開札後に公募を知らなかったという話はこれまで聞いていない。また、現地説明会も開催しており、希望に応じて現地立会での説明機会も設けているため、今のところは十分な期間を確保できているものと考えている。</p>
	<p><b>【委員】</b>          当初の計画では令和元年から5年間かけて管理するとしており、2つの目標は達成し、6つの取組は50点程度という状況だが、総括としてはどのように考えているのか。</p>	<p><b>【市】</b>          財政再建計画の計画期間は令和5年度までとしており、令和5年度の決算を踏まえ、2つの目標と取組み、財政指標などをお示ししたい。</p>
全体講評	<p><b>【部会長】</b>          ふるさと納税について、歳出歳入全体をわかりやすく提示をお願いしたい。          物価高騰について、勘案事項を資料を提示してもらいながら、検証していく形にしたい。          補助金関連について、ゆがみが生じている現状を、どうやって元の状態に戻していくか、活動への支障どのように元の状態に戻していくか、元の状態に戻す際にかなり注視しなければ活動に支障が出ることを十分勘案していただきたい。          公債費は、将来的にどう見通していくか、十分検討が必要であるとのコメントがあった。</p>	